

# あい 逢

第 特定非営利活動法人 愛逢  
 11 尼崎市小中島1-20-21  
 号 電話 06-6493-1424  
 FAX 06-6493-1443  
 発行責任者 坂本敬子  
 発行日 2006年 6月17日

## ミニデイ愛逢が移転しました

ミニデイ愛逢が6月より小中島1丁目にある「わいわいサロン」で開かれました。

「地域のコミュニティ広場として役立てて欲しい」という多々野様のご好意により実現する事ができました。

毎月第1・3月曜日 10時～15時がミニデイの日です。お喋りしたい!! 歌いたい!! 毎日の生活で違う楽しみが持てたら……と 思っている方! 気軽にミニデイを覗いてみてください。

ミニデイ愛逢  
 担当 長嶺 弘美



“ミニデイ愛逢”の会場がまたまた変わりました。新しい場所は、地域内の民家ですが、バリアフリーに改装されて家庭的で「陽だまりのサロン」の雰囲気です。6月5日は初めての開催日です。利用者さん5人と家族1人、関わるボランティア7名のスタートでした。



初めての利用者さん、ずーっと利用されている方も、歌いながら手を動かす体操を楽しむ笑顔がとても素敵でした。ご近所の方々も気軽にお立ち寄りくださり、気に入ったら参加してみませんか♪



## ヘルパー募集

- (1) 介護保険・登録ヘルパー
- (2) 支援費・ガイドヘルパー (障害者支援)

## < 運転ボランティア急募 >

- (1) 配食サービス 車による配達スタッフ
- (2) 移送サービス・運転スタッフ

申し込み・問い合わせは Tel 06-6493-1424

# なごやかな雰囲気 で 第3回総会を開催

5月20日午後6時より小中島福祉会館に於いて第3回総会が開かれた。会員総数48名中、出席者30名、委任状17名という高出席率のもと、式典が始まり、あいさつに立った坂本敬子理事長は、2005年度で介護保険、支援費の各事業をすべて開設できた今年度は、介護系NPOの特性、その役割について考え事業、活動に取り組んでいく旨のことが述べられた。

続いて、来賓の弘中信正市議員から祝辞をいただいた。



議事は目堅喜代蔵議長のもと2005年度活動報告、決算報告、監査報告すべて参加者全員異議なく承認された。続いて(1)2006年度活動方針、(2)事業予算、(3)介護保険、支援費の法改正に伴う定款変更が提案され、いずれも承認された。

2部では、日頃話し合う機会の少ない会員の皆さまの交流の場になればと懇親会がもたれた。各テーブルでは、初めての出会いあり、議論白熱ありで、おおいに盛り上がり意義深い懇親会でした。



## 正念場 — 努力の年に！

坂本敬子（理事長）

第3回総会が5月20日無事終わりました。ご出席いただいた来賓の皆さまはじめ会員の皆さまに厚くお礼申し上げます。

今年は「NPO愛逢」3年目の年です「石の上にも3年」。活動、事業ともに正念場を迎え、身の引き締まる思いです。

くらしの助け合い「愛逢くらぶ」時代を知らない人たち、又は仕事場として「愛逢」に関わっている人たちが介護事業の主力を担うのは、そう遠くないと思っています。

「愛逢」の立ち上げの理念やめざすものを明確にし、「愛逢」に関わるすべての人たちと思いを共有していく努力の年と受け止めています。

NPOを立ち上げる時、お手本とした神戸ライフ・ケア協会も3年目にNPO法人としては異例の「倫理要項」を策定しています。

介護系NPOの先輩たちに学びながら設立当初のボランティアな意識を低下させることなく活動していきたいと願っています。皆様の参画、参加を心よりお待ちしております。

# 満たしきれないニーズ



## 兼行栄子ケアマネージャー

ケアマネの仕事始めて2ヶ月、ケアプランを立てさせて頂いている方の数も少ないし、その上未熟なので未だニーズが把握しきれていないのが実感です。その前提で今感じていること、相談された事を上げてみましょう。

- (例1) 支援と認定された方のケアプランはお断りします、という事業所が少なからずあること。(1件当たりのケアプラン代が1/3になるからでしょうか?) 受け入れ可能な事業所の見知らぬケアマネージャーに紹介され、とても不安そうです。
- (例2) 家族で協力し頑張って在宅を続けようとするが、夜中に何回も起こされて介護者の方が倒れてしまうのではないかと、何か良い方法はないでしょうか。
- (例3) 往診医があっても、日祭日・夜間に容体が悪くなった時に、対応してくれることはなく、家族だけで対応を考えなくてはならない。又そういう時に限り具合が悪くなりとても不安。
- (例4) 介護保険のワクを目いっぱい使っても未だ足りない。そのままでは負担が重過ぎてとても利用できない。愛逢の助け合い活動も、すべてに対応できる程の手がない。
- (例5) 介護保険で通院介助をしてもらったが、4月から送迎はするが通院介助はできないと言われ、玄関で置き去りにされてもひとりでは動けない。

以上のような声を聞きましたが、きっと氷山の一角なのでしょう。

**自助、共助、公助**といわれますが、自助も公助も筒いっばいの感があります。打開の道は共助しかないかと再認識させられた2ヶ月でした。



## 会員登録更新のお願い

4月1日をもって新しい年度を迎えました。ひきつづきNPO法人愛逢の活動を支えていただきたく、会員登録の更新をお願いします。

正会員	3000円
賛助会員	2000円

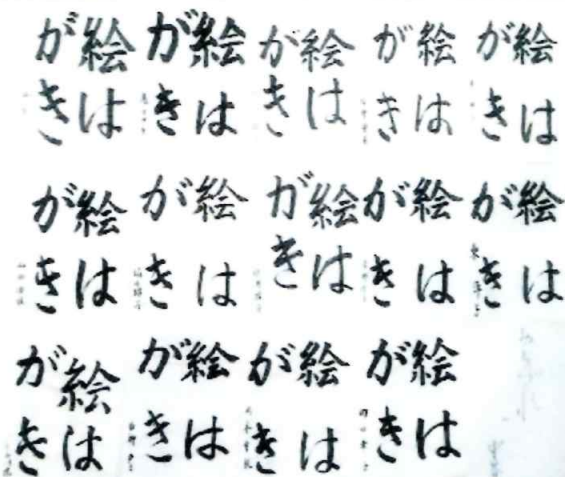


▼ 愛逢の事務所までお電話いただけましたら、こちらから受け取りに伺います。

TEL 6493-1424

【 文芸コーナー 】

2006年度寄付金寄贈者



- ・ 稲次 みさをさん 角丸 玲子さん
- ・ 中村 大蔵さん 小林 圭一郎さん
- ・ 香川 末子さん 米田 昌子さん
- ・ 平田 キミ子さん 生山 紀代子さん
- ・ 小西 加保留さん 徳田 道子さん
- ・ 永田 エイコさん 橋本智子さん

当会の趣旨にご賛同頂き、ご協力頂きましたことを熱くお礼申し上げます。

〔 くるみ会の方々の作品 〕

【お願い】 会員の皆様からの投稿をお待ちしています！

ホ ッ ト 夢 持



先日、「富山型」ディサービスとして有名な「このゆびと〜まれ」・惣万佳代子さんの講演会があった。ここは、お年寄りだけでなく、子供も障害者も一緒に集う「ちょっと変わった」ディサービスです。そして、惣万さんは「これが、どの地域にもあった日本の文化そのものです」と言われる。いま、この実践が「地域密着・小規模多機能」として全国に広がっている。愛逢事務所に奮戦記〔著者〕があります。希望の方はどうぞ。

( 編集男 )

聖路加病院の院長である日野原先生(94才)の「あるがまま行く」タイトルの新聞欄を毎週楽しみに読んでいる。

6月3日(土)の「老いてから出会う友の喜び」を読んで、なるほどと思った。学生時代の友人は気負わず付き合えるし、よい友であり人生の支えであった。

高齢になると「もう年だから……。」とかで閉じこもり勝ちになるが、勇気を持って学習・趣味・遊びのグループに入り、新しい友人を作り、楽しさを体験して欲しい。老いを寄せ付けない秘訣である。

何かに取り組んでみようという意欲、進歩的な心が最も大切だと。誰も豊かな老後をと願う所、よき助言と読んだ。新しい出会いを求めてNPO愛逢の事務所も尋ねてみて下さい。

< 淑女 >

